

0.1 μm 粒子用HEPAフィルタと 標準HEPAフィルタの全循環形の性能



日本エアーテック株式会社
Airtech Japan, Ltd.

本 社 〒106 東京都港区六本木3-7-17(六本木産業ビル)
TEL. 03-403-1731

大阪営業所 〒531 大阪市大淀区中津1-11-8(旭ビル)
TEL. 06-373-0473
06-376-0513

工 場 〒340 埼玉県草加市青柳町1117-3
TEL. 0489-36-3033
0489-36-3350

1. はじめに

超LSI如く半導体の集積密度が上昇するにつれて、半導体製造環境における粒子制御が重要な問題となってきている。そこで、現在のHEPAフィルタの捕集効率より高い性能を有するフィルタに対する要求が高まっている。すでに、 $0.1\mu\text{m}$ 粒子用HEPAフィルタとして、数社から発売されている。

本レポートでは、 $0.1\mu\text{m}$ 粒子用HEPAフィルタ2種と標準HEPAフィルタをクリーンベンチに装着したときのクリーンベンチ作業台内の清浄度を測定し、さらに標準HEPAフィルタを用い、気流を全循環形として測定したので、以下に報告する。

2. 測定方測

垂直層流形クリーンベンチにHEPAフィルタを装着し、作業台内部で粒子濃度を測定した。使用したHEPAフィルタの構造を図1に、沪材、定格を表1に示す。

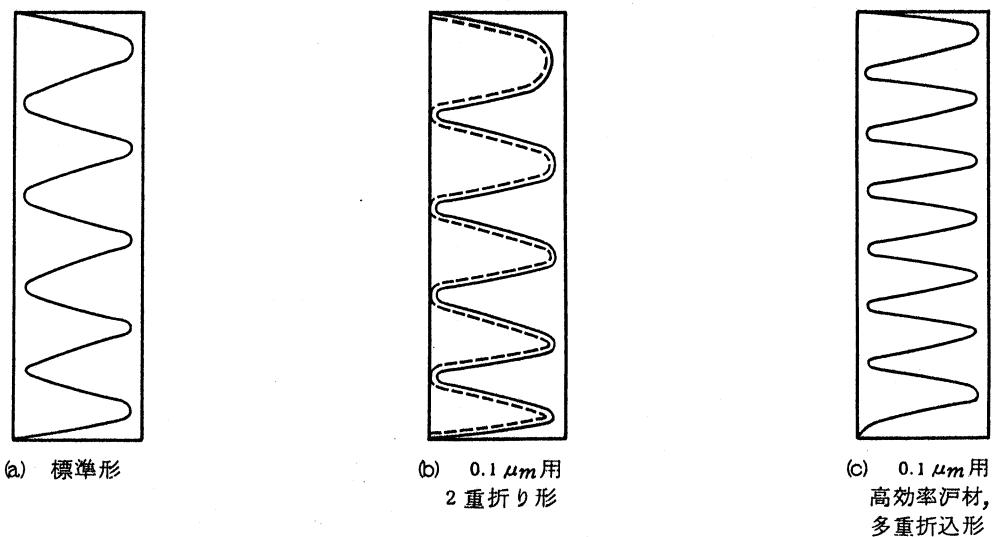


図1 HEPAフィルタ構造

表1 HEPAフィルタ形状及び定格

	沪材形状	沪材	定格風量 (m^3/min)	圧力損失 (mmAq)	寸法 (mm)
標準HEPAフィルタ	標準	標準	18	23.9	150t×610×610
$0.1\mu\text{m}$ 用HEPAフィルタ	2重折り	準HEPA用+HEPA用	18	31.2	
$0.1\mu\text{m}$ 用HEPAフィルタ	多重折り込み	高効率形	18	21.2	

全排気形及び全循環形の気流系統図を図2に示す。

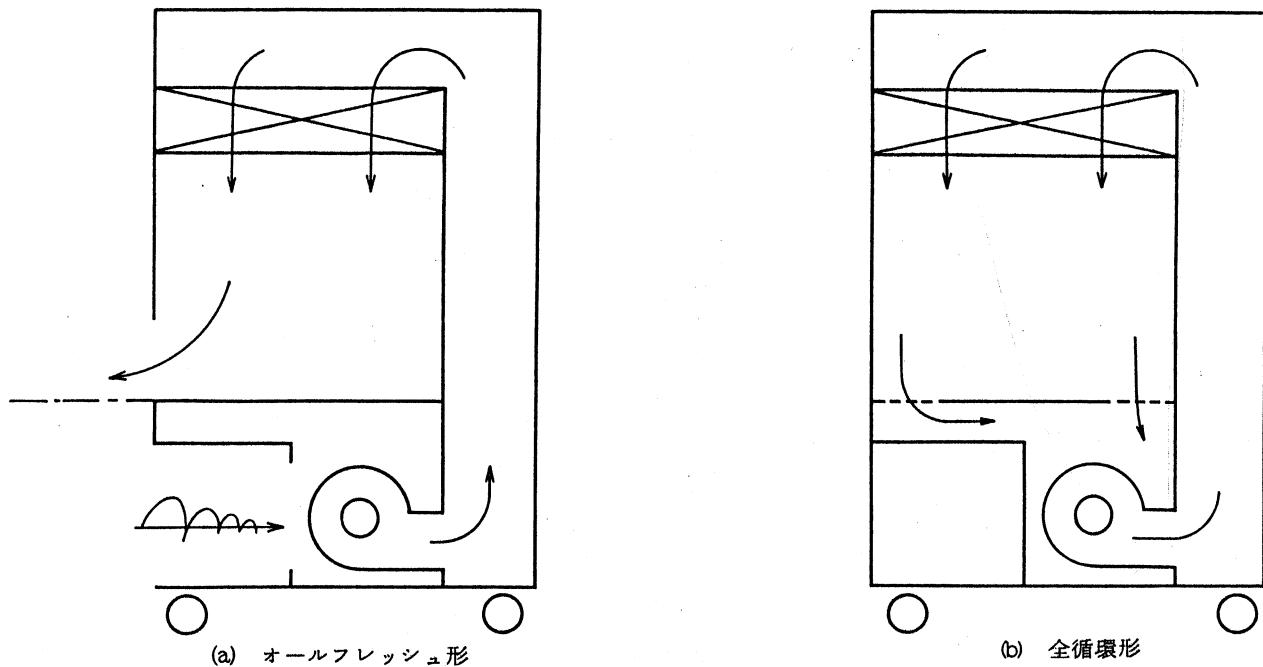


図 2 気流系統図

粒子濃度は、レーザ形粒子計数器 (HIAC/ROYCO-226) を用いて測定した。

3. 測定結果

測定結果を表2に示す。標準HEPAフィルタを使用した場合に比べて、 $0.1\text{ }\mu\text{m}$ 用HEPAフィルタの場合は、両者共粒子濃度は1桁以上減少した。

一方、標準HEPAフィルタを全循環気流内で用いた場合は、 $0.1\text{ }\mu\text{m}$ HEPAフィルタと同程度の性能を示した。この三者の測定値は、1桁であり有意差はないと考える。

表 2 測定結果

粒径 (μm)	オールフレッシュ形			全循環形 標準HEPAフィルタ	外気粒子濃度 $\times 10^5$
	標準HEPAフィルタ	$0.1\text{ }\mu\text{m}$ HEPAフィルタ 2重折り形	$0.1\text{ }\mu\text{m}$ HEPAフィルタ 高効率戸材多重折込形		
0.12 ~ 0.17	35	1.1	1.5	2.3	4.46×10^5
0.17 ~ 0.27	9	0.4	0	0.3	3.47×10^5
0.27 ~ 0.42	0.5	0	0	0	6.32×10^4

単位： $\times 100$ ヶ/ ft^3

4. 結 言

(1) $0.1\text{ }\mu\text{m}$ 用HEPAフィルタは、標準HEPAフィルタより捕集効率は高い。

- (2) 標準HEPAフィルタを循環気流内で使用すること、 $0.1\text{ }\mu\text{m}$ 用HEPAフィルタと同程度の性能となる。
- (3) 標準HEPAフィルタを清浄度の高いクリーンルーム内で使用した場合循濃形であれば、 $0.1\text{ }\mu\text{m}$ 粒子も大巾に減少できる。
- (4) 高効率 $0.1\text{ }\mu\text{m}$ HEPAフィルタは、実用的である。

Copyright © AIRTECH JAPAN, LTD. All Rights Reserved.

【注意】

連絡先は発行当時の情報が記載されています。
最新の連絡先はホームページ等でご確認をお願いします。